さて…
星見のおっさんよ…
お星様酒場に なったぜヲ
ナンバッカ
第24話
海の星見を乾く！3
ヒ…ヒ…ヒ…
ヒ…ヒ…ヒ…
ヒ…ヒ…ヒ…

ふん
ボッ
ボッ
ボッ

俺はそれを
斬っただけだ

ハハハ
ナニ言ってンダ
ヤツは
ウロコ
ウロコ
ウロコ

まず、ヒロインは、ヒロインらしくあるべきだ。
ヒロインは、ヒロインらしくあるべきだ。
ヒロインは、ヒロインらしくあるべきだ。
少なくとも、俺は。
この世界を救ったんだったと言ってしまうのは、恥ずかしいな。
まっ、まあ、かわいいヒロインもいるし、
それだけが、俺の幸せだ。
でもだったら、俺たちを助けるなんて、幸せなんかいいんじゃないか？
俺たちは、守られるべきだ。
守られるべきだ。
守られるべきだ。
ヒロインは、ヒロインらしくあるべきだ。
ヒロインは、ヒロインらしくあるべきだ。
ヒロインは、ヒロインらしくあ

何度やっても無駄だ

俺の鉄壁の防御はてめぇの理想まみれの牙なんかで破れると思うな

ガッ

ガガガガ

ガッガッ

じゃあもし破れたら

俺の理想は君より強いってことになるね

言っておくけど俺の理想の牙は

誰にも負けないよ

TO BE CONTINUED